

輝くシルバー いなべ

平成22年7月

12号

地域社会に輝くシルバーパワー



員弁公園の逆さ五重塔 (員弁公園・五重塔)

毎日の散歩に員弁公園へ出かけます。員弁大池にシンボルタワーが鏡のように映っていたので撮影しました。

撮影者/楠 敏夫氏 (員弁支部)



社団法人 **いなべ市シルバー人材センター**

本部 〒511-0428 いなべ市北勢町阿下喜2624-2
TEL(0594)82-1800 FAX(0594)72-7741
E-mail inabe-sj@m3.cty-net.ne.jp
ホームページ <http://www3.cty-net.ne.jp/inabe-sj/>



QRコード(携帯電話で見られます)▶



新理事長挨拶

社団法人いなべ市シルバー人材センター

理事長 市川明夫

日頃、会員の皆様にはいなべ市シルバー人材センターの事業運営に当たり、大変温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、これまでシルバー事業が順調に推移してきましたのも行政のご支援、並びに地域の皆様方のご理解の賜物と感謝申し上げます。

私は、去る5月14日に開催された平成22年度第1回通常総会において理事長に選任されました。もとより微力ではありますが、当シルバー人材センターの健全なる発展並びに、会員の皆様の信頼と満足度を少しでも高めるため、全力を傾注し努力する所存でありますので、何卒ご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

一方、当センターの発足当初から先頭に立って組織固め、財政の確立等に卓越した指導力を発揮され、今日の基盤を築かれた森田前理事長の功績に対し改めて敬意を表するものであります。

さて、シルバー人材センターは会員に就業の機会を提供すると共に就業を通じて健康や生きがいを高めて地域社会に貢献することが目的であります。

しかしながら、社会情勢が大きく変化する今の時代にあっては、今までのように行政からの補助金を頼ることが難しくなってきたことから、センターの基本理念である「自主・自立」が非常に重要な要素になってきます。

そのためには、親切丁寧な仕事を行って発注者の皆様に満足を提供することにより、地域社会に信頼され愛されるセンターになって初めて社会の担い手として認識されるものと確信します。

なお、安全就業については、《安全はすべての作業に優先する》を基本理念に傷害・損害事故のゼロに向けて安全委員会が中心となり英知を傾けて、取り組んでいきますのでご協力をお願いする次第です。

これから1年間、役職員がお互いに協力し、会員の皆様のご協力を得ながら円滑な事業運営に取り組んで行く所存でありますのでよろしくお願い申し上げます。

役員・職員紹介

(順不同・敬称略)

役員

理事長	市川明夫	理事	遠藤貞幸
副理事長	児玉誓吾	理事	門脇敏男
常務理事	川瀬典男	理事	杉本祐造
理事	瀬古清隆	理事	近藤信義
理事	片山鞠子	理事	羽場正信
理事	東松五十生		
理事	楠敏夫	監事	渡辺重弘
理事	渡邊正司	監事	日下和子

職員

事務局長	川瀬典男	事務	梅山真由美
主任(会計庶務)	藤川裕子	事務	岡本なおみ
北勢支部長	葛山輝昌	農業公園	森稔
員弁支部長	安藤哲夫	バス事業担当	津田芳仁
藤原支部長	寺村昇幸		
大安担当	服部邦夫		
藤原担当	藤井樹巳		
事務	川瀬奈津美		



平成22年度基本方針について

社団法人いなべ市シルバー人材センター

常務理事 川瀬典男

前期の事業実績は、会員皆様が親切で丁寧に業務に取り組まれ契約額は3億3,400万円、会員は749名となりました。平成22年度は「第二次中期事業計画」に基づき、従来の事業に加え、下記の事業を実施しますのでご理解とご協力をお願いします。

主な実施計画

バス事業の受託（福祉バス・スクールバス）
安全就業の推進・適正な受託と就業。
ボランティア活動への積極的な参加。
会員のためのホームページ充実。
新公益法人申請への取組み。

平成22年度目標

会員数 740名
契約額 3億7,000万円
就業率 92%

平成22年度は、国の事業仕分けにより補助金が大幅に減額となりました。事務局も一層の経費削減に努めますが、会員や互助会もご理解をお願いします。

平成22年度 第1回通常総会開催

とき：平成22年5月14日開催 ところ：北勢市民会館 さくらホール



理事長 森田勝利

ご挨拶（要旨）

まず始めに本総会開催にあたり出席に対するお礼と感謝の言葉が述べられた。

次いで本総会に提出の各議案についての提案の趣旨等について補足説明がなされた。その内容は、社団法人より公益法人に移行するに伴い、定款の変更、諸規定の変更を5年間で実施する。実施不可能な場合、自動解散となる為、今年度中に申請し来年度4月1日より新しく公益法人に変更したい考えを述べられた。

次に決算の内容について、受託金額3億2,500万円という事業計画を立て、実績として3億4,100万円になり、目標額を1,600万円オーバーする事ができたことは、会員みなさまのご尽力があったものと感謝の意を述べられ、繰越金も約400万円計上する事ができ、内容的によい決算であり将来の財務強化につなげることが出来た事が報告された。

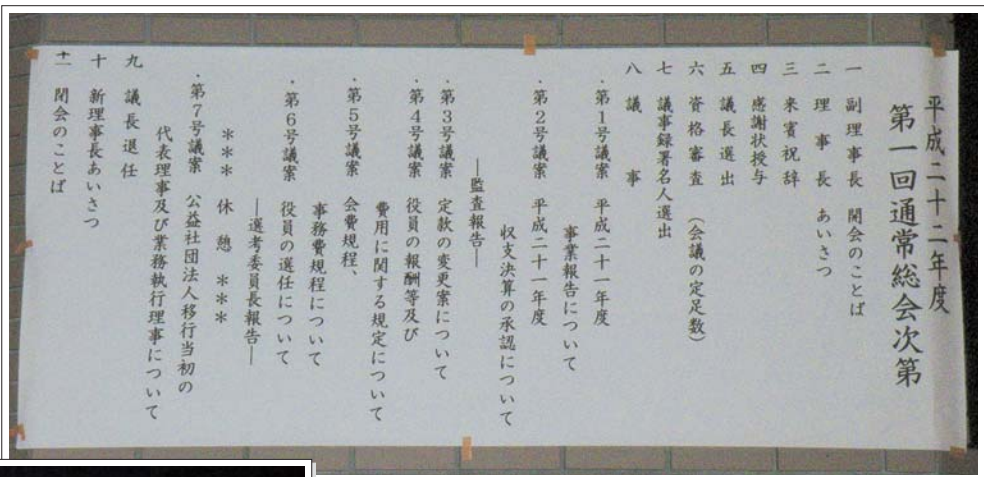
一方、第1回目の行政刷新会議による仕分作業において全国シルバー人材センターが対象となり、補助金の既得権、全国シルバー東京本部廃止、高齢者として高額な時間単価が指摘され、補助金の大幅な3分の1カットとなり、厳しい今年度予算作成になった。

また、シルバーが成り立つ為には、①会員数 ②受託金額 ③財務内容 ④安全就業の4つの柱が順調にまわることが必要である旨強調された。当シルバー人材センターの入会率は県下トップの5.2%（全国平均2.8%）と高いが、仕事が減少し、会員数と仕事数のバランスが問題であることを指摘された。安全面に関しては重篤事故がないものの、傷害、賠償事故が減少しないのが現状である。

来年度より、公益法人になると総会が1回になり予算案の承認が理事会のみになる。役員の実務責任が重くなり運営が難しくなると考えられるが、新役員を中心に今後の業績を順次積み重ね、後世につなげていく責務を果たしていただきたい旨を述べられた。



第一回 通常総会開催



いなべ市
日沖市長の挨拶



新理事長の挨拶



感謝状授与



(株)三重県シルバー人材連合会
古川会長の挨拶



互助会表彰



総会会場風景



総会受付





平成22年度 新役員の抱負



バス事業担当理事
東松五十生

バス事業が開始され2ヶ月余り、皆様の御協力により順調に推移してまいりました。福祉バスでは5月24日から4回に分けて運転者会議が開かれ接触事故の防止、時刻表通り運行する為のチェック態勢の確立、事故が起きた時の処置、より良い対応等、有意義な時間が過ごせました。こう言う機会を通じて新しい知識を得、安全運転意識の高揚に役立て、安全運転を確立し皆様から信頼され安心して御利用頂けるよう努力してまいります。バス事業においてはシルバー人材センターの基本理念を念頭に明るい環境づくりに努めます。



施設管理班担当理事
楠 敏夫

平成22年5月の総会において、理事に選任いただき、施設管理班と会報編集の担当理事をおおせつかりました。施設管理では、各会員が業務を引き継ぎながら進めています。誠実な対応を基本に、楽しく働ける環境を皆様と一緒に作りあげたいと思います。又会報発行につきましては、内容について、皆様のご意見をいただき、発行が待ちどおしいものになりたいと思います。どうかご指導とお力添えをお願い申し上げます。



阿下喜温泉班担当理事
渡 邊 正 司

平成22年5月の総会において、理事に選任され重責を担うことになりました。高齢化社会になり、60歳を過ぎても働く人が増えて地域社会に参加されるようになりました。その為にもシルバー人材センターの役割が重要になって来ています。理事として会員が働きやすい環境になる様に努力していきたいと思っております。どうか皆様のご指導をお願い致します。



独自事業班担当理事
杉 本 祐 造

平成22年5月の総会において、理事に選任されて、浅学菲才な私にこのような重責を全う出来るのか非常に心配しております。しかし、森田前理事長の指名を受けて、シルバー人材センターの発展に、力一杯職務を遂行する覚悟であります。今回独自事業班（ヒメイワダレ植栽作業請負）担当理事としましては、なにも判らない私に、花苗、ヒメイワダレ苗作りを班の方に、聞きながら覚えていきたいと思っております。どうかご指導とお力添えをお願い申し上げます。



安全適正委員会担当理事
羽 場 正 信

高齢者人口は確実に増え続けております。いなべ市は、今後どのような姿へと変貌してゆくのでしょうか。歳月を重ねる中、シルバー人材センターが公益法人としての機能を余すことなく発揮し、市の発展の一翼を担う存在として活動し続けることを願ってやみません。この度、図らずも理事に推挙され就任させていただきました。微力ながら任務遂行に励む所存です。どうぞ宜しくご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



監 事
渡 辺 重 弘

平成22年5月の総会において、監事に選任され私には重責と存じます。過去2年間、理事として経験させていただきましたことを、今後は違った視点でシルバー人材センターが、健全で安心な公益社団法人として成長するよう、理事長以下各理事と連携を密にして運営に尽力いたす所存です。



私たちが
担当します

委員会・職群班の 担当理事・班長・班役員のご紹介

(敬称略)

委員会名・班名	担当理事・担当	班 長	班 役 員
安全適正委員会	児玉誓吾 羽場正信	渡部豊彦	清水秀夫 小高德夫 多湖直夫 柴田昭治 木村和己 林迪男 伊藤利昭
編集委員会	楠敏夫	—	井後一夫 水谷史子 可児将爾 安藤哲夫 藤井樹巳
公益申請委員会	安藤哲夫	—	市川明夫 児玉誓吾 瀬古清隆 遠藤貞幸
草刈・機械班 草取りグループ	門脇敏男	寺村昇幸	川瀬甚三郎 水谷和昭 多湖直夫 多湖実 寺本勇 小林克二 桜井清 佐藤巧 窪田ミヨ子 渡部美枝子 岩花なつゑ 清水千代美
剪定班	瀬古清隆	—	古川巍洋 渡部正 岡融 中村卓雄
施設管理班	楠敏夫	—	近藤昌子 二井謙爾 小谷和良 林迪男
農業公園班	森稔	—	児玉善蔵
阿下喜温泉班	渡邊正司	関谷光男	出口源衛
給食班	近藤信義	—	伊藤松根 藤井幸夫 門脇明治 小林治吉
襖・障子班	川瀬典男	出口徹	
いなべ総合病院 ボランティア班	遠藤貞幸	平野富秋	近藤ヨシ子 近藤喜代嗣 前野千里 清水智恵子 嶋田勇 小寺年子 三輪晃
独自事業班	杉本祐造	—	[ニンニク] 佐藤義典 小林功 小阪文郎 長田正行 [ヒメイワダレ] 古瀬正幸
福祉班	片山鞠子	水谷史子	近藤たか子 二井加代子 小寺年子
バス事業	東松五十生	—	清水健蔵 水貝宏明 伊藤勝昭 木村良紀 近藤捨男





夏の暑さにまけない生活



いなべ総合病院

院長 水野 章

今年の春はいつになく気候不順で寒い日もあって地球温暖化って本当に起こっているのかしらと疑問に思うほどでしたが、いよいよ本格的な梅雨に入り、ジメジメした、蒸し暑い日々が続くようになりました。

さて、暑さにまつわる言葉を探してみますと、夏日は一日の最高気温が25℃以上になる日、真夏日は一日の最高気温が30℃以上になる日、猛暑日は一日の最高気温が35℃以上になる日だそうです。また熱帯夜は一晩の最低気温が25℃以上の夜を云い、超熱帯夜は最低気温が30℃以上の夜を指しています。

食中毒警報という言葉もあります。これは次の気象条件が発生するときに出されます。

1. 気温30 以上が10時間以上継続する場合
 2. 湿度90%以上が24時間以上継続する場合
- などがあります。

こんな日は決まってお腹を壊したり、体調を崩すことが多いので注意しましょう。

さらに夏は水分を一気に摂ったり、冷たい物を食べ過ぎたりして胃腸も弱っていますので、もし怪しい食べ物を食べると食中毒に罹りやすいといえます。

その過信の元になっているのが冷蔵庫です。冷蔵庫に入っていたから大丈夫とか冷凍してあったから大丈夫だと思っていますが、過信は禁物です。冷蔵庫の温度設定ってご存知ですか？

冷蔵庫の温度は1℃～5℃、冷凍庫は-18℃以下、「チルド室」が約0℃、「氷温室」が約-1℃、「パーシャル室」が約-3℃となっています。設定温度が一定でも、夏と冬では冷蔵庫内の実質温度は違ってきます。冬の冷蔵庫でペットボトルが凍ってしまったり、季節によってバターやマーガリンの硬さが違うのは、庫内の温度が一定ではないからなのです。その理由の一つにドアの開閉頻度の違いがあげられますが、そればかりではありません。結氷による冷却能力の低下、外気の影響を防ぐ断熱機能の低下などもあり、必ずしも庫温が設定どおりとは限りません。従って、生ものや一旦開封したビン詰めや缶詰の食品はできるだけ早めに食べましょう。残った食べ物ももったいないといっていつまでも冷蔵庫に入れておかず、

早めに処分しましょう。

食中毒といえばボツリヌス菌、サルモネラ菌、腸炎ビブリオ、黄色ブドウ球菌、O-157大腸菌、赤痢菌などが有名ですが、加熱や冷凍で菌が死んでしまうと思込んでいませんか？

多くの細菌は加熱処理にて死んでしまいますが、細菌の中には栄養体（大人の細菌）から芽胞（硬い殻に囲まれた植物でいえば種のようなもの）を作って子孫を残すものもあります。この芽胞は低温にも高温にも強いので侮れません。身近な例では、ご飯が腐った時に臭うくさい臭いは枯草菌のにおいです。この菌は空中のどこにでもいるポピュラーな菌ですが芽胞産生菌です。炊いたご飯の中に少し含まれていたり、落下細菌として混入し、発芽して増えると人体に影響を与えます。その他、ウェルシュ菌やセレウス菌もそうです。加熱・冷凍処理してあっても、冷凍バックしてあっても完全にはありえないと思い、調理したら早めに召し上がることが大切です。

夏の提案

冷蔵庫の管理

冷蔵庫の奥の方に古い食べものが隠れていませんか？

- ・一週間に一度は冷蔵庫の中をチェックする習慣をつけましょう。
- ・古い食材から片付け、無くなったら新しいものを買きましょう。
- ・特に夏場は特価で安いからといって買いためしないようにしましょう。

手洗いの励行

昨年、世界で大流行した新型インフルエンザは飛沫感染していくウィルスの感染症ですが、飛沫と接触をミックスした感染経路が分かり、手洗いによってある程度、予防できることが実証されました。大切なことはしっかり洗うことです。

- ・石鹸をつけて時間を掛けて（最低でも1分間）指先、指間、手背、手首まで洗いましょう。
- ・手軽なハンドソープを洗面所や台所に幾つか準備しておき、外出から帰ったらすぐ手を洗いましょう。
- ・トイレで排便した後はもちろんですが、お料理をする前、食事やおやつを食べる前にもこまめに手洗いをしましょう。

ちょっとした工夫と努力で病気は予防できます。こうして夏、特有な病気にならないように気をつけましょう。





企業紹介

各支部でお世話になっている企業の紹介をします。

北勢支部

東工コーセン(株)コーセン工業事業部 三重工場 [住所] 北勢町京ヶ野新田97-4

会社の沿革

東工コーセン(株)は、1947年創立されたゴム工業用繊維資材商社である工業繊維(株)と1953年設立された中国貿易専門商社である東工物産(株)が1993年に合併し設立されました。

事業内容

当三重工場は1997年3月に工業用繊維資材の織布工場として操業開始、新聞印刷用基布を生産しています。今後、会社は化学品や樹脂、繊維から自動車ユニット等、幅広い分野において「生産部門を持った、特色ある商社」として事業拡大に努めていきます。

最近の景況

リーマンショック後、厳しい状況で、操業を縮小してきましたが、今年に入ってフル操業をしており回復傾向にあります。

シルバー人材に求めることは

現在、神田修さんと谷口義春さんの2名の方にお世話になっています。仕事熱心な方、明るく元気なシルバーパワーに期待します。



神田 修 会員

親切にさせていただき、働くことの喜びを感じています。

大安支部

(有)ケイオー技研 [住所] 大安町石樽東2507-2

会社の沿革

平成6年に個人事業として起業し、平成14年に有限会社として法人化しました。平成17年に現在地へ第二工場を建設し面積が5倍になり設備も人員も増強して現在にいたります。

事業内容

主に自動車部品メーカーで使用される設備の消耗部品及び作業に使う治具を作っています。

最近の業況

リーマンショック以降、大変厳しい状況がつづいています。大企業では明るい材料も出てきていますが、私ども小企業ではまだまだ先の見えない状況ですがめげずに日々努力しています。

シルバー人材に求めることは

シルバーの方には大手メーカーより受注している不良部品の分解と工場内の掃除をしてもらっています。誠実な方に来ていただいで大変助かっています。マイペースでいいので健康に気をつけてください。またシルバーの方に出来る仕事を受注出来ましたらお願いしたいと思っています。



横井 勝 会員

今年2月にシルバー人材センターの方からお話が有り、大安町内で働く事に成りました。もう早や4ヶ月近くになりました。この年齢でお仕事をさせて頂く事は本当に嬉しいです。これもいなべ市シルバー人材センターの皆様の御蔭と喜んでいきます。本当に有り難うございます。今後、体が良好の間、安全第一で頑張ります。



トピックス 2010

今回は新しく始まった

福祉バス事業の概要を紹介します

シルバー人材センター バス事業に挑戦！ 福祉バス事業

平成22年度からいなべ市事業の一環として（4月1日より）市内9路線を福祉バスが走るようになりました。また、スクールバスも10路線走ります。

その運転業務をいなべ市シルバー人材センターが担当させて頂いています。

スタッフ

【福祉バス事業】	39名
管理事務担当	1名
運行代務者	4名
運行代務補助者(運転兼務)	6名
運転者	28名
【スクールバス】	13名
管理事務担当	1名
運行代務者	1名
運転者	11名



阿下喜駅バス停



バスを利用される方がた

運転者は早朝5時より夜9時まで交代にて就業しています。

利用されている地域の皆さまからは「無料で乗れるので非常にありがたいです」「病院に通うにも一人で行ける」「買い物などにも利用したいです」との声を頂いています。

運転手さんは全員大型免許を持ち、バスの運転など運転歴の豊富な方たちで安全運転に徹しています。乗られる方はお年寄りの人が多いので特に、スピードと発進・停止には十分に注意をして乗務しています。

交通安全の講習会を開催し安全の意識を高め無事故、無違反の運転に努めてまいります。



交通安全講習会風景

乗車状況

運行開始から2ヶ月を過ぎ、4月・5月合わせて14,437人が乗車され、多くの方に利用されました。

員弁ルート	2,318人
北勢ルート	4,537人
藤原ルート	7,582人
合計	14,437人



職群班 だより

草刈・機械班

担当理事 門脇敏男

班長 寺村昇幸

草刈安全作業を行う際は、まず作業を行う前に危険な場所、注意して行う事などをよく打合せを行い、会員に徹底することが必要であります。また作業するにあたっては、身の安全を守るヘルメット、目の防護具等の着用はもちろん、作業場所の状況によっては建物への石の飛散はないか！近くに駐車している車両はないか！等状況をよく確認するなど、会員一人一人が細心の注意を払い、草刈・機械班がまず一歩前へ出て無事故が続くことを願うものであります。

剪定班

担当理事 瀬古清隆

剪定の仕事は高所での作業が多くなり重篤事故発生が危惧されます、安全第一の原点「安全就業基準」を順守し、無理をせず慎重に作業するべくお互いに再確認し、「親切・丁寧」を旨に仕事を進めたいと思います。一方、新しく剪定作業に就業を希望される方が少ない状態であり、現在就業されている方々のレベルアップも含め、「剪定作業」の講習会を開催できたらと考えています、関心のある方は是非受講をお願いいたします。

給食班

担当理事 近藤信義

大安給食センターは、昨年4月古くなった施設が改装となり再出発しました。将来に備えて能力も増強され、衛生面でも更に充実されました。給食配送のシルバー会員もこれに合わせるべく、所長の指導を得て食中毒などを起こさぬよう努めています。配送業務においても、助手になる人はホイッスルなどを活用し無事故を目指しています。藤原の給食班は、2月服部担当に始業前ストレッチの指導を受けて、事故を起こさぬ様安全就業を心掛けています。

安全委員会だより

安全適正委員長 兎玉誓吾



“ 慣れた手も緩んだ気持ちで事故招く ”

安全委員会の取り組み

会員の皆様、日頃の事業、安全・適正就業に、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、毎年就業時事故目標ゼロを掲げて参りましたが残念ながら昨年度は傷害、賠償事故14件と多発しました。傷害、賠償保険を請求しない事故も7件を数えます。今年度もすでに5月末までに数件の事故が発生して居ります。5月に第一回安全委員会を開催いたしました。その中で「安全はすべての作業に優先する」と言った基本行動を各委員と共に再確認致しました。また今年度からバス事業に取り組むことになりました。幸い人命に係る重篤事故が発生していない事は何よりと思います。今後とも安全運転に徹し「安全・安心」に全力で取り組んで参ります。

油断するな無理するな！慣れた仕事もバカにせず！をモットーに事故撲滅に向け各会員の一層のご協力をお願い申し上げます。

尚、これから暑い季節に向かいます。健康管理、車の運転にも十分注意して充実した22年度になる事を祈念いたします。





互助会だより

日帰り親睦バス旅行

日時：10月27日(水) 大安・員弁
 10月28日(木) 北勢・藤原
 10月31日(日) 4支部混合

参加費：4,000円
 ※行き先、参加募集など詳細は8月の事務局だよりにて同封の予定です。

今年の行事予定

交通安全街頭指導

- ★春の交通安全指導 4月13日(火)
- ★夏の交通安全指導 7月13日(火)
- ★秋の交通安全指導 9月28日(火)
- ★冬の交通安全指導 12月14日(火)

シルバーの日奉仕活動

- ★奉仕活動日時 10月16日(土)
(地域班により繰上げ実施あり)
午前中の2～3時間程度
- *小学校や保育園など地域班で決めた場所の清掃・除草・剪定などの奉仕活動

ユニカール同好会

- (代表：日沖真衛 ☎77-0287)
- ★第1回大会 10月3日(日)
 - ★第2回大会 平成23年3月6日(日)
 - *場所：いずれも北勢体育館

パークゴルフ同好会

- (代表：近藤勝敏 ☎46-2360)
- ★第1回大会 6月5日(土)
 - ★第2回大会 12月4日(土)
 - *場所：いずれも藤原パークゴルフ場

歩こう同好会

- (代表：平野富秋 ☎72-6997)
- ★秋の歩こう会 10月頃
 - ★春の歩こう会 平成23年3月頃
 - *詳細は事務局だよりにて同封予定です

パソコン同好会

- (代表：定岡義明 ☎74-3523)
- ★ワード&エクセル初歩から応用まで
 - ・毎週水曜日 13:30～15:30開催
 - ・場所：北勢福祉センター2階

今年度の互助会役員・班長

役員

会長：岡 昭十三
 副会長：近藤 勝敏
 会計：神田 修
 書記：出口 信明
 幹事(北勢)：川瀬 善吾
 幹事(員弁)：多湖 勝
 幹事(大安)：出口 源衛
 幹事(藤原)：伊藤 康雄
 監事：中島 儀明
 監事：門脇 明治

班長

北勢	阿下喜：清水 秀夫 十社：川瀬 湊	山郷：伊藤 忠 治田：小高 徳夫
員弁	員弁東：蛭薙 善實 員弁西：渡部 豊彦	
大安	笠間：清水 作郎 三里：小林 康信	丹生川：樋口 和浩 石樽：篠木 重和
藤原	立田：加藤 嘉次 中里：森 日出男 白瀬：近藤 稔	西藤原：近藤 善弘 東藤原：木村 信之



おしらせ

ホームページの活用

いなべ市シルバーのホームページが新しくなりました。

▶ <http://www3.cty-net.ne.jp/~inabe-sj/>

一度ご覧に
なってください

事務局だより

大安作業所(襖・障子班) 旧丹生川保育園に移転

今まで襖・障子班が借用していた大安町平塚の市の施設は、この度の耐震検査の結果取り壊されることになりました。

7月から襖・障子班は、旧丹生川保育園を借りて張り替え作業をすることとなりました。建物に設置されていた本部行きのポストは、三里駅前の倉庫に移動しました。皆さんご承知ください。

[新作業所] ●住所：いなべ市大安町丹生川中松之木1211番地 ●電話：88-1500

入会説明会

健康で働く意欲のある方を募集しています。

60歳以上で入会希望の方をご紹介ください。

[入会説明会の日程ご案内]

- 日程 7月20日(火)
8月23日(月)
9月21日(火)

●全日程共通

時間 午後1:30～
場所 北勢福祉センター
2階会議室

前理事長森田勝利氏 顧問就任

平成22年度第1回理事会において森田勝利氏は、顧問に推挙され承認されました。今後、シルバー人材センター運営についてご助言をいただきます。

会員の訃報

平成22年4月～5月の間に下記の会員が逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



【佐藤公代様 (67歳) 藤原支部・平成22年 4月】
【林二三男様 (65歳) 藤原支部・平成22年 5月】

編集後記

水谷史子

いよいよ7月にもなると朝夕の涼しさも消え、夏本番となり好きな人にも、嫌いな人にもたまらない季節です。さて、7月号の表紙の写真は楠委員長が撮影された「逆さ五重の塔」です。私も先日久しぶりに員弁公園の「五重の塔」を見ていなべにも素晴らしい景観がある事を再認識し、今回の編集後記当番はいいタイミングで廻ってきた感じです。「逆さ五重の塔」に皆さんも涼を感じて頂けたら…

